

2019年度(令和元度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(6)番 福山市立幸千中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	①思考・創造力	②表現力	③思いやり	④能動的市民性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	情報を収集するとともに、分析・活用しながら課題を発見し、その解決の方法を見つけることができる。 目の前にある課題解決のために、その内容を理論的に掘り下げて考えることができる。 与えられた情報を整理できる。	多様な人たちに、相手の立場や背景を考えながら、分かりやすく伝えることができる。 集団の前で、自分の意見や考えを、相手に伝わるように表現することができる。 自分の意見や考えを集団の前で話すことができる。	集団や他者に対して、思いやりを持って行動し、周囲の幸せを考慮することができる。 集団や他者とのなかで、相手の立場や考えを想像し、共感できる。 他者や集団の中で他者を気づかえる。	社会をよりよくしようと、社会の主体としての意識をもち、社会がよりよくなるための関わりを持つことができる。 社会の一員としての自覚を持ち、社会の抱える問題に目を向けようとする。 所属する一員としての自覚を持つ。

2 授業の現状

ふるさと学習において、主体的な学習態度がみられるようになり、学んだことを表現することに意欲的な生徒が増えている。しかし、つきたい力の分析が不十分であったり、学習規律の定着しない授業があったりする。

転換

3 めざす授業の姿

○教えて考えさせる授業 ※数値目標:「授業で考えることはおもしろい」80%以上
○生徒が「わくわくどきどき」しながら授業に臨むことができ、「できた」「わかった」という感動がある授業。授業以外の場面でも自ら「やってみよう」という主体的な学びにつながる授業。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①授業の中に発表および記述の場面を設定する。 ②定期試験等に思考・判断・表現力を問う記述問題を作成する。 ③個別指導(わくわくタイム、放課後指導)、家庭学習の定着を図る取組 ④「自分の考えを伝え合う活動」を分析・検証し、学習発表会(実践)につなげる	①グループワーク等「対話的」な授業の増加 ②各教科で実施、分析し、2学期の授業方法などの検討を行った。 ③試験前の質問教室、夏季休業中の補充学習で「つまずき」の把握を行った。 ④10月の学習発表会に向けて、準備を進めた。	①「授業見る観る週間」を実施し、教員が協働し、「子ども主体」の学びづくりを進める。 ②作問を継続し、特に三年は高校入試を意識した内容にしていく。 ③質問教室だけでなく、授業内においても「つまずき」を把握し、生徒の学びの手助けをする。 ④教科の内容を総合的な学習の時間との関連性を図り、カリキュラムマップの見直しを行う。	①「授業見る観る週間」の継続実施。プレーンストーミングを取り入れ、生徒の意見を引き出す授業を実施した意見を交流し、考える場を与える事で今まで見られなかった生徒の反応や、活発な意見交流の場面が見られた ②各教科で試験問題の交流を行い、授業方法などの検討を行った。 ③各授業で積極的に机間指導を行い、「つまずき」の把握を行った。 ④次年度に探究的・教科横断的な総合的な学習の時間を実施するために、関係機関との連携を行った。	①「授業見る観る週間」を実施し、教員が協働し、「子ども主体」の学びづくりを進める。(継続) ②作問を継続し、特に三年は高校入試を意識した内容にしていく。(継続) ③1月上旬に実施する標準学力検査をもとに、個々の課題を把握し、学びの手助けをする。 ④次年度カリキュラムでつきたい力を教員全体で共有し、各授業の実践に生かす。	①年間で5回の取組を実施し、生徒の主体的な学びについて研修を深めることができた。来年度も継続し、授業改善の視点を深めていく。 ②基礎・基本の充実を土台に、各種テストの内容吟味、段階を意識した作問の研修を深めていく。 ③来年度も継続し、教科ごとで課題を分析し、明確化して改善に取り組む。 ④カリキュラムマップを見直し、他教科との関連や総合的な学習の時間とのリンクを充実させる。

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

国語	71(-3)	自分にはよいところがある	69.9
数学	53(-7)	先生はよいところを認めてくれる	71.4
英語	51(-5)	将来の夢や目標を持っている	69.8
		人の役に立つ人間になりたい	95.0

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	96.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	66.5
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	69.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	72.6

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	3.0	不登校	2.6
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 8/24	「握力」4/6「上体起こし」5/6「反復横跳び」5/6「20mシャトルラン」4/6「50m走」6/6 が平均値を下回っている。	○男女共通 「50m走」が全学年県平均値を下回っている。	○保健体育科の授業で短距離を走る運動、跳躍動作のある運動を取り入れる。また、合理的な走法について理解させる。
(女子) 13/24			

目標値	○「50m走」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
-----	---------------------------

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	73.3	26.7
仕事に充実感がある	66.7	33.3

児童生徒アンケート(%) (2)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	80.5	19.5
自分の考えは、認められている	86.4	13.7